
砂漠

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

砂漠

【Zコード】

N24410

【作者名】

じはんライス

【あらすじ】

20枚完結予定。大アドリブ大会。とある砂漠での顛末。

1 (前書き)

前書きは君の心に。

砂漠

「ああ。暑い。死ぬ」

らくだにまたがり、てくてくと。後ろには、ロリ華が乗つている。胸が背中に当たる。

「ちょっとロリ華。もう少しあく離れて。胸が当たる。勃起する」

「ふふふ。わざとよ」

ロリ華はいじわるだ。

らくだが、あはははと苦笑いしている。

前から警官が走つてくる。

「はアはアはア。このへんに自販機ありますか

「ないよ」

「うつそー」

警官は砂の上に倒れてしまった。

ああ。暑い。ものすごく暑い。照りつけん。

照り焼きチキンバーガー！

関係ない。言つてみたかったので言つてみただけ。「ごめんね。

まったくどこまでも続く砂、砂、砂、サンド。

サンドイッチ食いて————！

また言つてしまつた。かなりいかれてる。そのうち読者が怒るな。

オレとロリ華を乗せたらくだはふあとあぐびをしてる。余裕の表情だ。こいつ、夜中、サソリたちとマージャンしつたのや。ひざいガキだ。

オアシスでもないかなあ。ないわなあ。そんな都合がいいわけない。都合がいい小説これすなわけつまらぬから売れぬ小説。

売れなくてもいい。暑い！暑い！暑い！

向こうで、包丁振り回してくる男がいる。よく見れば秋葉原通り魔事

件の加藤被告だ。バカめ。こんなところで振り回したって意味ない。

「たけし！ヤバイよ！」

口リ華が叫ぶ。そうか。ちょっと意味があった。オレたちという標的がいたのだ。

加藤被告が青ざめた表情で突進してくる。

「うわあああああああ

らくだのケツに包丁を刺した。

「痛いいいいいい」

らくだは泣きながらものすごいスピードで走る。

オレと口リ華は振り落とされないようにしつかりとしがみつく。

振動で口リ華がこぶにあるスイッチを押してしまった。

座席が上方に口リ華」とぶつ飛んだ。いわゆる緊急脱出機能。

1 (後書き)

後書きをトライに流してしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2441o/>

砂漠

2010年10月11日03時03分発行